

## 6年度決算の状況

会計名		収入	支出
一般会計		77億9404万円	70億4666万円
特別会計	国民健康保険事業	8億8912万円	8億5899万円
	後期高齢者医療事業	9699万円	9243万円
合計		87億8015万円	79億9808万円



意見書を提出する馬淵代表監査委員（左から2人目）と樋口監査委員（左）

### 財政健全化判断比率は「健全」を維持

「財政健全化法」に基づく6年度の一般会計、特別会計、第3セクターなどの決算を含めた各指標は、いずれも基準を下回りました。

#### ●健全化判断比率

各指標	6年度	5年度	比較
実質赤字比率 (15%)	赤字なし	赤字なし	-
連結実質赤字比率 (20%)	赤字なし	赤字なし	-
実質公債費比率 (25%)	7.1%	7.4%	△0.3
将来負担比率 (350%)	7.4%	比率なし	皆増

※各指標の( )内の%は早期健全化の基準で、数値が低いほど健全な財政運営になります。

皆様の傍聴お待ちしております。

また、少子高齢化といった人口問題を軸に様々な課題が山積していることを改めて認識した。

今回、大学の夏休みを利用して初めて町議会を傍聴した。有権者として、地元の議会も機会があれば傍聴したいと以前から思っていた。



真剣な表情で議会を傍聴する千葉さん

千葉 翼さん(中村) 北海学園大学 法学部政治学科2年

議会を傍聴して

# 新庁舎2期工事完成

## 消防分署棟など様々な機能が集約



完成した大屋根広場「びっぐテラス」 (くずま〜の壁面には旧庁舎の町章が設置されています。)

### 9月定例会議

9月定例会議は、9月5日から12日までの8日間の日程で行われました。町長から提出された議案は、6年度会計の決算認定のほか7年度補正予算など20件が提出され、原案どおり「決定」しました。

一般質問は5人の議員が登壇し、町政に対して活発な議論が展開されました。

前年度比支出14億円減

一般・特別会計決算

6年度全会計の総支出額は、79億9808万円、前年度比13億7655万円14・7割減少しました。

一般会計の支出総額は、70億4666万円、前年度比12億466万円、14・6割減少しました。主な要因は、庁舎等建設事業や清掃センター長寿命化修繕工事の減によるものです。

二つの特別会計の支出総額は、9億5142万円、前年度比2732万円、2・9割増加しました。積立基金残高は60億6035万円、前年度比2億681万円、4・2割減少しました。そのことにより、将来負担比率が7・4割に増加しました。一般会計決算の詳しい内容は、6〜7ページをご覧ください。

監査委員の意見

徴収率の上昇と物価高騰対応施策を評価

6年度決算は全ての会計が黒字となりました。

歳入では、軽自動車税の現年課税分の収納率が100割となるなど、町税全体の徴収率が前年度を0・6割上回り、滞納処分等の徴収対策の取り組みを高く評価します。

また、近年は財政健全化判断比率が改善しており、基金への積立、公債費の任意繰上償還による将来負担の抑制など、財政健全化に努めています。6年度は、物価高騰による影響を受けた町民に対する様々な施策が、きめ細かく実施されており、評価します。今後、更なる町勢発展と、町民福祉の向上、町総合計画後期計画の実現を望みます。